

2024年度（令和6年度）学校評価自己評価表

神辺東中学校区	校番 35	福山市立神辺東中学校
最終更新日		2025年（令和7年）2月7日

I 福山市

<p>ミッション 福山に愛着と誇りを持ち、変化の激しい社会をたくましく生きる子どもを育てる。</p> <p>ビジョン 「福山100NEN教育」の基本理念のもと、各中学校区・学校が「21世紀型“スキル&倫理観”」の育成に向けた特色ある教育課程を編成し、日々の授業を中心として評価・改善を進めながら、子どもたちの確かな学びを実現している。</p>

II 中学校区

<p>前年度学校関係者評価の主な内容</p> <p>各校ともに教職員が一丸となって学力課題等の改善へ向けた重点取組が進み、子どもたちの意識が変化している。教職員のやりがいや充実感を基盤に、小中間で学力の伸び調査等にみられる課題改善の具体策を共有し、さらなる基礎学力の定着を期待する。</p>	<p>児童生徒の現状</p> <ul style="list-style-type: none"> 目標を持ち、学校生活全般に渡り主体的に頑張ることができ、全体的な規範意識は高い。 授業では協働的な学習に積極的に取り組んでいるが、自分の考えを持ち、意見を練り合い合意形成する場面や表現のスキルの獲得状況が十分でない。また基礎学力の定着にも課題がある。 	<p>育成する力 21世紀型“スキル&倫理観”</p> <p>めざす子ども像 (義務教育修了時の姿)</p> <p>中学校区として統一した取組等</p>	<p>問題解決能力・コミュニケーション力・意思決定力</p> <p>自己を認識し、「なりたい自分」をめざし、自分の人生を選択し、自分らしく表現することができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> わくわく感をもって課題を探究し自分らしく表現する子どもの学びの創造 「あいさつ」の大切さを実感し、家族や友達、教師や地域に向けて実践する力の育成 「ふるさと学習」のSDGs・ICT活用による改善 「家庭学習」で子ども主体の学びの推進のための発達段階に応じた取組の明確化と実践 「体力向上」にむけた子ども主体の取り組みの推進
---	---	--	---

III 自校

<p>ミッション</p> <p>ふるさと安那（やすな）を愛し、自己実現に向け将来をたくましく生き抜く力を培い、地域・保護者との繋がりを深め、地域にある学校として信頼される学校教育を創造する。</p>	<p>育成する力 21世紀型“スキル&倫理観”</p> <p>めざす子ども像</p> <p>意</p>	<p>問題解決能力 コミュニケーション力 意思決定</p> <p>主体的に問題をとらえ、その解決に向けて、正しい情報を取捨選択し、よりよい解決方法を粘り強く考え、工夫して表現することができる。</p> <p>問題の解決に向けて、他者と積極的に意見交流をしようとする意欲を持ち、自分の考えをわかりやすく伝えたり、他者の意見を丁寧に聞いたりするスキルを身に付け、よりよい問題解決に向けた合意形成ができる。</p> <p>問題の解決に向けて、自分の考えを明確に持ち、他者の考えも受け入れながら柔軟に判断し行動できる。</p>
<p>学校教育目標</p> <p>自信と誇りを持ち 心豊かに たくましく生きる生徒の育成</p>	<p>研究</p> <p>テーマ</p> <p>内容等</p>	<p>わくわく感をもって、課題を探究し、自分らしく表現する生徒の学びの創造</p> <p>生徒自ら思考回路を構築して自己表現し、探究するための指導方法を明らかにする。</p> <p>生徒は</p> <ul style="list-style-type: none"> ○自ら問いを創り、わくわく感を持って学んでいる。 ○自らチャレンジしようとする意欲にあふれ、ICT・思考スキルや共同的な学びを活用して粘り強く探究し、考えたことを自分らしく工夫して自己表現しようとしている。 ○自分の考えをわかりやすく伝えたり、他者の意見を丁寧に聞いたりして、共同的な学習による合意形成を楽しんでいる。 <p>めざす授業の姿</p> <p>教師は</p> <ul style="list-style-type: none"> ○生徒の自己表現による問題解決場面を設定し、役割を認知の仕組みから見直し、「生徒一人一人の学びを見る・学びを待つ・選択を促すファシリテート」できる。 ○不思議の種をまき、生徒自ら問いを創り思考回路を構築できるよう支援している。 ○リアル（対話的体験的な学習）とデジタル（ICT教材や思考スキル等）を有効活用。 ○固定概念にとらわれない評価規準・評価材料を柔軟に設定し計画的に実施している。 ○生徒指導の3機能（自己決定の場を与える。自己存在感の場を与える。共感的人間関係を育成する。）を生かし、どの教科でも学習集団を育成している。
<p>現状</p> <p><生徒></p> <p>基本的には素直でまじめな生活態度で、規範意識も高い。しかし、自分の考えや思いを表現することが苦手な生徒が多く、返事や発表等、自信を持ってできる生徒が少ない。自分の考えや思いを堂々と表現できる力をつける必要がある。</p> <p><授業></p> <p>「子ども主体の学び」を目指し、問いを立てICTの活用を手立てとして取組を進め、教師が説明する授業スタイルからの脱却を進めている。8割の生徒が「授業が楽しい」「授業がよく分かる」と回答しているが、基礎学力の定着状況には課題があり、二極化傾向が見られる。「子ども主体の学び」へ向け授業研究を進め、探究的な生徒の学びを創造する必要がある。</p>		

IV 目標・取組及び評価指標等の設定と評価

年目	中期経営目標	重点	分類	短期経営目標	目標達成に向けた取組	評価指標	中間評価(10月1日)			最終評価(2月末)					
							□指標に係る取組状況	力での評価	達成評価	改善方策	□指標に係る取組状況 ◎短期(中期)経営目標の達成状況	力での評価	達成評価	総合評価	改善方策
1	「学びが面白い」と実感する賢い生徒の育成	★	新規	・主体的に学び、自己表現できる生徒の育成	・授業で自分の考えをもち、表現できる場面の設定 ・研究グループによる相互授業参観(1回/学期)	①「思考回路を構築」した授業実践(1回公開/学期) <生徒アンケート> 各教科等の授業で ②「授業では自分の考えをもち、表現することができる」と回答した生徒80%	・「思考回路を構築」した授業実践を時間割に位置付け、全教員が公開・参観・協議した。 ・「授業では自分の考えをもち、表現することができる」86%であった。	4	3	研究グループの授業公開、参観・協議を継続して実施していく。	・「思考回路を構築」した授業実践を時間割に位置付け、全教員が公開・参観・協議した。(4回以上/1人) ・「授業では自分の考えをもち、表現することができる」91%であり、思考力・表現力の育成を図れた。	5	4	5	研究グループの授業公開、参観・協議を継続して実施する。指導力向上に向け、外部講師を招聘し研修の質的向上を図れるように実施していく。
2	自立した・心の優しい生徒の育成		継続	・計画的に目標にチャレンジできる生徒の育成	・フォーサイトを活用した学習計画の作成及び実行についての指導	<生徒アンケート> ④「フォーサイトを活用している」「目標を設定して、達成しようとしている」と回答した生徒80%以上	・全校集会や各教科での指導をしているが活用状況は50%であった。学年が上がるにつれ活用状況が減少 ・「目標達成している」88%であり、学年が上がるにつれ、目標達成状況が上昇した。	3	2	フォーサイトの使用目的を明確にし、日常的に活用する場面を設定し、活用させる。行事等の実施時に、目標を設定させ、振り返りをさせる場面を設定していく。	・行事や取組の実施前には学年・学級担・生徒会執行部より、目的について話し、目標を設定し取組めた。 ・「目標達成した生徒は94%」、自立した生徒へと成長をしている。	3	4	3	フォーサイトの購入を見直し、来年度は新しい教材を活用し、家庭学習の定着に重点を置いた指導をしていく。
				・仲間を大切にする思いやりのある行動ができる生徒の育成	・道徳の時間の充実 ・いじめアンケート・教育相談の実施	<生徒アンケート> ⑥「道徳の授業がためになる」と回答した生徒80% ⑦アンケートと教育相談を学期1回実施100%	・各学年で道徳の授業づくりの時間を時間割に位置付けている(1.5回/月は、管理職が指導・助言をしている)。「道徳の授業がためになる」90%であった。 ・アンケートと教育相談の実施(100%)により、「学校・学級は安心して過ごせる」87%であった。(否定的回答の13%の生徒の教育相談を実施している。)	4	4	道徳科を要として「命・愛・人権」について取組んだことを、神辺東祭(文化の部)テーマ「協創共歩～みんなが主役 最高のステージへ～」に継続した取組の発表をしていく。さらに、大野靖之さん(歌う道徳教育推進教師)による学校ライブの実施し、道徳教育を深化させていく。	・心に響く道徳の授業・道徳教育の実施に向け、管理職と各学年で、毎週1回づつ、道徳の授業づくりとして合同で教材研究を行った。教員からは、今までで一番生徒の反応が良かったと反応があった。「道徳の授業がためになる」67%であった。 ・アンケートと教育相談の実施(100%)により、「学校・学級は安心して過ごせる」85%であった。	3	3	3	道徳の授業づくりについて、研修会を実施する。魅力ある学校行事の実施や相談委員会による情報交換・共有により、学校満足度を高める。その取り組みの結果として不登校生徒の減少を図る。

1	たくま しい生徒の 育成	★ 新規	<ul style="list-style-type: none"> 高い志をもち、挑戦する生徒の育成 	<ul style="list-style-type: none"> 自治的・自発的活動の推進 体力・運動能力等の向上 	<p>⑧各種取組・行事・大会への参加による表彰(237人以上) <生徒アンケート> ⑨「学級・学校が楽しい」と回答した生徒80%</p>	<ul style="list-style-type: none"> 挑戦をテーマとし、各種大会やコンクールの積極的に参加している。表彰生徒数は、521人であった。 「学校・学級は楽しい」93%であった。 	4	3	<p>生徒会(各委員会)活動は、定期的に実施し、新たな取組をしていく。引き続き「意見箱」を活用して生徒の意見を反映した取組をしていく。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 各種大会やコンクールへの積極的に参加により表彰生徒数は、1024人であった。(一人4回以上) 執行部の企画や意見箱の実行により、様々な自主的・自発的な生徒会活動が行えた。「学校・学級は楽しい」92%であった。 	4	4	4	<p>生徒会(各委員会)による自治的・自発的な活動を推進し、学校長及び生徒会による表彰をしていく。</p>
1	保護者・地域から信頼される学校づくり	継続	<ul style="list-style-type: none"> 安心・安全な学校づくり 教職員の笑顔と元氣、やりがいと達成感の向上 	<ul style="list-style-type: none"> 自己の課題を明確にした目標設定と積極的な情報公開 「報・連・相」を基軸とした協働的な職務の遂行 	<p><保護者アンケート> ⑩「神辺東中学校の教育活動に満足している」と回答した保護者80% <100NEN教育> ⑪「仕事にやりがいを感じている」と回答した教職員80%</p>	<ul style="list-style-type: none"> 日常的な家庭連携、学校だより、学級通信、HP更新などにより学校の様子は伝えている。「神辺東中学校の教育活動に満足している」93.6%である。 本校の職員は、「報告・連絡・相談」の基、「神辺東中の生徒のために」を合言葉に職務を遂行している。「仕事にやりがいを感じている」100%である。 	4	4	<p>仕事の進捗状況の把握と協働的な職務の遂行のための指導・助言、入退校の管理を引き続き行っていく。継続して起案システムや主任・主事を中心としたOJTによる人材育成、業務改善を遂行し、魅力ある学校行事を実施し、公開性を高めていく。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「報・連・相」を基軸とし、方針を明確にした協働的な職務の遂行により、その日の内に事案に取組み解決した。(45時間以内73%「仕事のやりがい」100%)また、県の研修へ一人一回以上の参加ができた。 学校公開や通信、HP、いじめアンケート及び生活アンケートの実施と対応、日常的な家庭連携等の組織的な取組による情報発信により、学校満足度は88.2%であった。 	3	4	4	<p>仕事のスピード化と協働的な職務の遂行により、時間外45時間以内の職員を前年度以上にしている。</p>

[プロセス評価の評価基準]

評点	評価基準
5	取組の目的に対する共通理解が顕著に認められ、状況の変化、問題が生じた際は、協働的な課題解決が十分に図られた。
4	取組の目的に対する共通理解が認められ、状況の変化、問題が生じた際は、協働的な課題解決が概ね図られた。
3	取組の目的に対する共通理解が一定程度認められ、状況の変化、問題が生じた際は、協働的な課題解決がある程度図られた。
2	取組の目的に対する共通理解が認められ難く、状況の変化、問題が生じた際の協働的な課題解決があまり図られなかった。
1	取組の目的に対する共通理解が認められず、状況の変化、問題が生じた際の協働的な課題解決が図られなかった。

[達成評価の評価基準]

評点	評価基準
5	目標を大幅に達成し、十分な成果をあげた。
4	目標を概ね達成し、望ましい成果をあげた。
3	目標をある程度達成し、一定の成果をあげた。
2	目標を下回り、成果よりも課題が多かった。
1	目標を大きく下回り、成果が認められなかった。

[総合評価の評価基準]

評点	評価基準	
5	100%以上の達成度	十分に目標を達成できた
4	80%以上100%未満の達成度	概ね目標を達成できた。
3	60%以上80%未満の達成度	ある程度目標を達成できた。
2	40%以上60%未満の達成度	あまり目標を達成できなかった。
1	40%未満の達成度	目標を達成できなかった。

2025年(令和7年)2月12日

福山市立神辺東中学校長 様

神辺東中学校区
学校関係者評価委員会

2024年度(令和6年度)学校関係者評価報告書

評価結果

	評価項目	評価
1	中学校区や学校のめざす子ども像がよく分かった。	◎
2	中学校区や学校の児童生徒の現状や課題がよく分かった。	◎
3	学校が本年度何を重点目標として取り組むのかがよく分かった。	◎
4	短期経営目標や評価項目・指標等の達成状況がよく分かった。	◎
5	短期経営目標の自己評価結果に基づく改善方策がよく分かった。	◎
6	短期経営目標の自己評価結果に基づく改善方策を実行している。	◎
7	中学校区や学校は、教育活動に関する情報を、保護者・地域住民等に積極的に発信している。	◎
8	積極的な情報発信により、中学校区の学校・保護者・地域が互いに連携協力を深めている。	◎
<p>【意見等】</p> <p>子ども達の未来未来を考え考え努力してもらっている。 未</p> <p>(いらぬ物はなくさせよう)</p>		

※ 評価基準

評価	基準	説明
◎	十分満足できると判断されるもの	「評価項目」に示されている状況を高い水準で達成していると考えられる。
○	おおむね満足できると判断されるもの	「評価項目」に示されている状況をおおむね達成していると考えられる。
△	努力を要すると判断されるもの	「評価項目」に示されている状況を達成していないと考えられる。

2025年（令和7年）2月12日

福山市立神辺東中学校長 様

神辺東中学校区
学校関係者評価委員会

2024年度（令和6年度）学校関係者評価報告書

評価結果

	評価項目	評価
1	中学校区や学校のめざす子ども像がよく分かった。	◎
2	中学校区や学校の児童生徒の現状や課題がよく分かった。	◎
3	学校が本年度何を重点目標として取り組むのかがよく分かった。	◎
4	短期経営目標や評価項目・指標等の達成状況がよく分かった。	◎
5	短期経営目標の自己評価結果に基づく改善方策がよく分かった。	◎
6	短期経営目標の自己評価結果に基づく改善方策を実行している。	◎
7	中学校区や学校は、教育活動に関する情報を、保護者・地域住民等に積極的に発信している。	◎
8	積極的な情報発信により、中学校区の学校・保護者・地域が互いに連携協力を深めている。	◎
【意見等】		

※ 評価基準

評価	基準	説明
◎	十分満足できると判断されるもの	「評価項目」に示されている状況を高い水準で達成していると考えられる。
○	おおむね満足できると判断されるもの	「評価項目」に示されている状況をおおむね達成していると考えられる。
△	努力を要すると判断されるもの	「評価項目」に示されている状況を達成していないと考えられる。

2025年（令和7年）2月12日

福山市立神辺東中学校長 様

神辺東中学校区
学校関係者評価委員会

2024年度（令和6年度）学校関係者評価報告書

評価結果

	評価項目	評価
1	中学校区や学校のめざす子ども像がよく分かった。	◎
2	中学校区や学校の児童生徒の現状や課題がよく分かった。	◎
3	学校が本年度何を重点目標として取り組むのかがよく分かった。	◎
4	短期経営目標や評価項目・指標等の達成状況がよく分かった。	◎
5	短期経営目標の自己評価結果に基づく改善方策がよく分かった。	◎
6	短期経営目標の自己評価結果に基づく改善方策を実行している。	◎
7	中学校区や学校は、教育活動に関する情報を、保護者・地域住民等に積極的に発信している。	◎
8	積極的な情報発信により、中学校区の学校・保護者・地域が互いに連携協力を深めている。	◎
【意見等】		

※ 評価基準

評価	基準	説明
◎	十分満足できると判断されるもの	「評価項目」に示されている状況を高い水準で達成していると考えられる。
○	おおむね満足できると判断されるもの	「評価項目」に示されている状況をおおむね達成していると考えられる。
△	努力を要すると判断されるもの	「評価項目」に示されている状況を達成していないと考えられる。

2025年（令和7年）2月12日

福山市立神辺東中学校長 様

神辺東中学校区
学校関係者評価委員会

2024年度（令和6年度）学校関係者評価報告書

評価結果

	評価項目	評価
1	中学校区や学校のめざす子ども像がよく分かった。	◎
2	中学校区や学校の児童生徒の現状や課題がよく分かった。	◎
3	学校が本年度何を重点目標として取り組むのかがよく分かった。	◎
4	短期経営目標や評価項目・指標等の達成状況がよく分かった。	◎
5	短期経営目標の自己評価結果に基づく改善方策がよく分かった。	◎
6	短期経営目標の自己評価結果に基づく改善方策を実行している。	◎
7	中学校区や学校は、教育活動に関する情報を、保護者・地域住民等に積極的に発信している。	◎
8	積極的な情報発信により、中学校区の学校・保護者・地域が互いに連携協力を深めている。	◎
【意見等】		

※ 評価基準

評価	基準	説明
◎	十分満足できると判断されるもの	「評価項目」に示されている状況を高い水準で達成していると考えられる。
○	おおむね満足できると判断されるもの	「評価項目」に示されている状況をおおむね達成していると考えられる。
△	努力を要すると判断されるもの	「評価項目」に示されている状況を達成していないと考えられる。

2025年（令和7年）2月12日

福山市立神辺東中学校長 様

神辺東中学校区
学校関係者評価委員会

2024年度（令和6年度）学校関係者評価報告書

評価結果

	評価項目	評価
1	中学校区や学校のめざす子ども像がよく分かった。	◎
2	中学校区や学校の児童生徒の現状や課題がよく分かった。	○
3	学校が本年度何を重点目標として取り組むのかがよく分かった。	○
4	短期経営目標や評価項目・指標等の達成状況がよく分かった。	◎
5	短期経営目標の自己評価結果に基づく改善方策がよく分かった。	○
6	短期経営目標の自己評価結果に基づく改善方策を実行している。	○
7	中学校区や学校は、教育活動に関する情報を、保護者・地域住民等に積極的に発信している。	○
8	積極的な情報発信により、中学校区の学校・保護者・地域が互いに連携協力を深めている。	○
【意見等】		

※ 評価基準

評価	基準	説明
◎	十分満足できると判断されるもの	「評価項目」に示されている状況を高い水準で達成していると考えられる。
○	おおむね満足できると判断されるもの	「評価項目」に示されている状況をおおむね達成していると考えられる。
△	努力を要すると判断されるもの	「評価項目」に示されている状況を達成していないと考えられる。